

弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A

Q 1. なぜ建物へ避難するのですか。

A 1. ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるためには屋内への避難が有効だからです。

Q 2. 避難する際には、避難施設として都道府県知事に指定されている、建物等に避難しなければならないのでしょうか。

A 2. 弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で到達します。避難施設として指定されているかどうかにかかわらず、最寄りの建物等に避難してください。また、屋外にいる場合で周囲に適切な建物がない場合（休日夜間で利用できない場合を含む。）や自宅等の屋内避難が困難な場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守ってください。

Q 3. 自宅（木造住宅）にいる場合はどうしたらよいのでしょうか。

A 3. できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋や廊下などへ移動し、机等の下に身を隠してください。

Q 4. 建物内に避難してから気を付けることはありますか。

A 4. 爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないよう、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。身の安全を確保した後は、行政からの指示やテレビ・ラジオ等を通じて正確かつ迅速な情報収集に努め、避難の必要がなくなったと判断できるまで待機してください（被害がある場合等は、行政からの指示に従ってください）。

Q 5. 弾道ミサイル情報が伝達されたとき、自動車の車内にいる場合は、どうすればよいですか。

A 5. 車は燃料のガソリンなどに引火するおそれがあります。車を止めて建物等に避難してください。周囲に適切な建物がない場合は、車から離れて物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守ってください。

Q 6. 車から出ると危険な場合はどうしたらよいですか。

A 6. 高速道路を通行している時など、車から出ると危険な場合には、車を安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、避難の必要がなくなったと判断できるまで待機してください。

問合せ 鹿嶋市 市民生活部 交通防災課
電話 82-2911 (内線372)